

政策分析シート（令和3年度）

政策名	良好で快適な生活環境の形成	政策No	08	部名	防災都市づくり部
関連部名	環境清掃部	部長名	松土	内線	2800
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市		

目的 住みたい、いつまでも住み続けたい街の実現を目指して、花と緑あふれ、うるおいと安らぎの場を区民に提供し、安全で快適な生活環境の充実に取り組むとともに、細街路の拡幅や道路の適正な維持管理、まちの環境美化等を進め、良好な住環境の維持・向上を図る。

指標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文	
		30年度	元年度	2年度		
①	生活環境の充実	3.23	3.23	—	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？	
②	まちなみの良さ	2.98	3.02	—	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？	
③	周辺環境の快適さ	3.06	3.06	—	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？	
④						
⑤						
⑥						
⑦						

指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		30年度	元年度	2年度	3年度見込み	目標値(8年度)	
①	公園・児童遊園面積 (ha)	43.3	43.1	43.8	44.6	48.0	
②	住みよいと感じる人の割合 (%)	91	92	92	92	95	区政世論調査
③	細街路後退用地整備率 (%)	44	45	46	47	52	整備延長／整備対象道路延長両側（自主整備含む）
④							
⑤							
⑥							
⑦							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	元年度	2年度	差額	勘定科目	元年度	2年度	差額
	行政費用	給与関係費	391,070	396,829	5,759	地方税等	0	0
物件費		833,925	840,312	6,387	国庫支出金	44,622	5,091	▲ 39,531
維持補修費		380,695	441,965	61,270	都支支出金	65,439	109,284	▲ 43,845
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		98,328	111,342	13,014	使用料及び手数料	934,559	935,085	526
減価償却費		347,400	362,353	14,953	その他行政収入	153,902	98,208	▲ 55,694
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	1,198,522	1,147,668	▲ 50,854
賞与・退職給与引当金繰入額		37,691	57,067	19,376	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,294,280	▲ 1,625,726	▲ 331,446
その他行政費用		403,693	563,526	159,833	金融収支差額(d)	▲ 2,075	▲ 1,645	430
行政費用合計(b)		2,492,802	2,773,394	280,592	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,296,355	▲ 1,627,371	▲ 331,016
特別費用(g)		503	517	14	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)		▲ 503	▲ 517	▲ 14	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,296,858	▲ 1,627,888	▲ 331,030

貸借対照表	勘定科目	元年度	2年度	差額	勘定科目	元年度	2年度	差額
	流動資産	収入未済	21,585	19,059	▲ 2,526	流動負債	47,128	44,605
不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金	0	0	0
その他の流動資産		0	0	0	特別区債	26,315	23,969	▲ 2,346
固定資産	有形固定資産	224,980,083	226,167,004	1,186,921	賞与引当金	20,813	20,636	▲ 177
	土地	207,333,464	208,141,087	807,623	その他の流動負債	0	0	0
	建物	7,239,552	7,342,516	102,964	固定負債	342,065	317,426	▲ 24,639
	建物減価償却累計額	▲ 3,439,508	▲ 3,600,982	▲ 161,474	特別区債	116,596	92,627	▲ 23,969
	工作物等	19,534,449	20,164,534	630,085	退職給与引当金	225,469	224,799	▲ 670
	工作物等減価償却累計額	▲ 5,687,874	▲ 5,880,151	▲ 192,277	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	389,193	362,031	▲ 27,162
	建設仮勘定	174,204	347,371	173,167	正味財産	224,799,528	226,186,338	1,386,810
	その他の固定資産	12,849	14,935	2,086	正味財産の部合計	224,799,528	226,186,338	1,386,810
	資産の部合計	225,188,721	226,548,369	1,359,648	負債及び正味財産の部合計	225,188,721	226,548,369	1,359,648

財務諸表に関する特微的事項等

- 行政費用の約3割を公園や児童遊園の管理に係る経費や区営住宅の運営に係る経費にあたる物件費が占め、1割半ばを道路の改修事業等に係る維持補修費が占めている。
- 有形固定資産が大幅に増加しているが、これは宮前公園第一期部分のオープンに伴うものである。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○『荒川区花と緑の基本計画』に基づき、公園等面積55.2haを目指し、平成18年度には41.6haであった公園等の面積を着実に増加させ、令和2年度には43.8haとなった。</p> <p>○道路ストック総点検の実施や道路橋の点検等を実施した。また、都電荒川線の沿線をバラで包み込み、美しい景観の創出や区民の心に潤いや安らぎを提供するため、バラの植栽数の増加に取り組んでいる。</p> <p>○居住環境は過去の住商工が共存していた時代から、再開発事業の進展や民間マンションの建設等により、大きな変化の時期を迎えている。</p>
課題	<p>○『荒川区花と緑の基本計画』で目標に掲げている公園等面積を確保するためには、引き続き、公園等を整備する必要がある。</p> <p>○区民の最も身近な都市施設である道路をいつまでも安全かつ安心して利用できるよう、適正な維持管理及び拡幅・改修等の整備を行う必要がある。また、都電沿線バラの植栽数を増やすとともに、バラを区民とともに育てていくため、その担い手である「荒川バラの会」の活動をより一層充実させる必要がある。</p> <p>○定住人口の維持・促進を図るため、高齢者・障害者・子育て世代などの居住支援要配慮者を含め、だれもが安全安心で快適に暮らせる居住環境を整備する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点を持って、地域バランスを考慮しつつ、今後更なる公園等の整備に努め、花と緑を通して幸せを実感できる街づくりを推進していく。</p> <p>○通常の維持管理や道路ストック総点検の結果に基づく計画的な補修を行うとともに、ボランティア活動の活性化を図るなど、身近な居住環境の整備を通じて、住みやすく快適な街を形成していく。</p> <p>○下町の風情を残した街並みを生かしながら、開発と調和の取れた居住環境の整備及び魅力ある景観づくりを推進していく。</p>

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	3年度設定	4年度設定	
緑とうるおい豊かな生活環境づくり	重点的に推進	重点的に推進	心豊かな区民生活に寄与するために、公園等の整備を促進するとともに、官民協働により花と緑を普及する必要がある。 また、街の防災性向上のために、目標とする公園等の面積確保に向けて、積極的に取り組む必要がある。
快適な居住環境の形成	推進	推進	良質で良好な居住環境を確保し、快適に暮らせる街づくりの取組みを推進する。
快適な生活道路の整備	推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。
まちの美化の推進	推進	推進	区民が安心して暮らせる環境を守るため、各部や関係機関と連携を図り、区民の健康と安全の確保に努めることは、基幹自治体である区の責務であり、本施策を推進する。